

24日に第2回実行委員会 門前宣伝、ホットライン等を計画

8月24日、県労連会館で第2回ルネサス実行委員会をおこないました。実行委員会には、県労連、宇部地域労連、柳井地域労連、山口地域労連、周南地域労連、私教連、共産党、県商連などの9団体・12名が参加しました。

はじめにあいさつした藤永会長（県労連議長）は、ルネサスのリストラ「合理化」は全国18カ所もの閉鎖・売却と全国的なたたかひになりつつある。ルネサスで働く労働者の雇用・生活だけでなく、地域、地域経済に係わる問題であり、労働組合、諸団体が共同して取りくんでいきたいと決意を述べました。

実行委員会では、この間の運動の経過や山口工場（宇部）の13年の売却・閉鎖、柳井工場（柳井）の3年以内の閉鎖、アンケートの回答やいよいよはじまった従業員の個人面談などについて意見交換。山口労働への申し入れや門前宣伝行動、従業員の電話相談ホットラインなど運動・取りくみを強めることを申し合わせました。

申し入れ・宣伝行動

8月31日（金）13：30～14：30 山口労働局申し入れ

9月4日（火）7：30～8：30 柳井工場門前

9月5日（水）7：30～8：30 山口工場門前局

9月5日（水）13：30～14：30 山口工場門前

9月5日（水）21：30～22：30 山口工場門前

9月16日（日）10：00～18：00 ホットライン

関連・大畠製作所で全従業員解雇

ルネサスエレクトロニクスの関連会社・半導体製造装置メーカー大畠製作所（柳井市）が8月16日に8月31日付けで全従業員89人の解雇を予告したことが明らかになりました。同社は6月28日、業績不振で民事再生法適用を申請していました。柳井市は全県でも雇用の受け皿の少ない地域です。今後ますますルネサスの関連・子会社、業者への影響が深刻となることが予測されます。

損害保険会社から問い合わせ

ルネサスのリストラ「合理化」はいろいろな方面へ波及しています。20日、県労連に日本興亜損害保険山口支店宇部支社の担当者からメールが入ってきました。「保険の営業で5～10名の求人を行っています。ルネサスの再就職支援の一つの選択肢ということで求職者に説明会の機会があればと思い相談させていただきました」と。勘違いもはなはだしいのです。